2023 年度 授業計画(シラバス)

学	Ŧ	针	日本語学科(昼間部1年	制)	科	目	区	分	基礎分野	授業の方法		講	髮
科	目名	ĽN	読解(中級)		必修	§/選	択の	り別	必修	授業時数(単位数)	40	(2)	時間(単位)
対	象学:	年	1年		学期	及て	耀	寺限	前期	教室名		502耄	室
担	当 教,	員	中村 絵	- 大物狂歌と	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo (エク といいにおいて2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語教えるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。								

《授業科目における学習内容》

7月の第1回日本語能力試験N2合格、留学試験対策を目標に、ストラテジーを身につける。授業では精読、速読を取り入れ、説明文、論説文、エッセイ、小説やグラフや文字などの情報が多く入った文も扱う。毎回テーマを決めてその力をつけていく。キーワード、指示語、主語の省略、接続詞などポイントを押さえながら、選択肢を見て探すのではなく、自分で筆者の意見をまとめられるよう進学後を見据えての必要な力をつける。辞書なしで、想像しながら読み進める力も習得する。

《成績評価の方法と基準》

- 1. 定期試験:70%
- 2. 課題提出:10%
- 3. チェックテスト:10%
- 4. 授業態度:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

「新完全マスター読解N2」「日本語総まとめN2]

「ドリル&ドリル 日本語能力試験N2読解」(課題)

「日本留学試験ポイントレッスン問題集」から抜粋、オリジナルハンドアウト使用。

《授業外における学習方法》

毎回、前回の授業内容の小テストと課題を課す。

《履修に当たっての留意点》

選択肢に頼らず、自分で要約し、意見を書くことを後期の最終の目標とする。毎回、課題を出し、そこでできていない部分を授業で解説していく。

	業の 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	中上級(1) 実力チェック	使用教材から適	復習
1	我形式	各コマに おける 授業予定	どんなストラテジーが必要かを見る。	宜抜粋	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	P上級(2) 情報を取ることができる		
第 2 回		各コマに おける 授業予定	全体をつかむ ビジネスレター、メール、張り紙など	使用教材から適 宜抜粋	課題、復習
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中上級(3) 情報を取ることができる	使用教材から適 宜抜粋	課題、復習
3 🗓		各コマに おける 授業予定	必要な情報を探し出す 広告、お知らせ、説明書きなど		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	中上級(4) 情報を取ることができる	/+ II */-+	課題、復習
۲ 4 0	義形式	各コマに おける 授業予定	必要な情報を探し出す 表やリストなど	使用教材から適 宜抜粋	
第 5 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中上級(5) 文章の仕組みが理解できる	使用教材から適 宜抜粋	課題、復習
		各コマに おける 授業予定	評論、解説、エッセイ文など 文章全体の意味を捉える 対比文、言い換え		

授業の 方法			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中上級(6) 文章の仕組みが理解できる	古田 #++↓↓◇ `☆		
6 □		各コマに おける 授業予定	評論、解説、エッセイ文など 文章全体の意味を捉える 比喩、疑問提示文、主張表現など	使用教材から適 宜抜粋	課題、復習	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	中上級(7) 質問に答える技術を身につけられる	使用教材から適 宜抜粋	課題、復習	
7	義 形 式	おける	評論、解説、エッセイ文など 文章の細かい部分を正確に読み取る 指示語を問う、「だれが」「何が」「何を」などを問う			
第	講	授業を 通じての 到達目標	中上級(8) 質問に答える技術を身につけられる	/+ □ #/.++) > \ \		
k ∞ □	義形式	各コマに おける 授業予定	評論、解説、エッセイ文など 文章の細かい部分を正確に読み取る 下線部の意味を問う、理由を問う、例を問う	使用教材から適 宜抜粋	課題、復習	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	中上級(9) 500字程度の中文の問いに答える(1)	 	課題、復習	
k 9 🗓	莪 形 式	各コマに おける 授業予定	内容理解(中文)	使用教材から適 宜抜粋		
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中上級(10) 500字程度の中文の問いに答える(2)	生田教社から済	課題、復習	
10		各コマに おける 授業予定	内容理解(中文)	使用教材から適 宜抜粋		
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中上級(11) 900字程度の長文を読み筆者の主張に答える (1)	/+ m */.+.	課題、復習	
911回		各コマに おける 授業予定	主張理解(長文)	使用教材から適 宜抜粋		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	中上級(12) 900字程度の長文を読み筆者の主張に答える (2)	使用数けが高	課題、復習	
12	我 形 式	各コマに おける 授業予定	主張理解(長文)	使用教材から適 宜抜粋		
第	講	授業を 通じての 到達目標	中上級(13) 評論、解説、エッセイなどを比較統合しながら理解できる	は田梨から文		
13回	義形式	各コマに おける 授業予定	統合理解	使用教材から適 宜抜粋	課題、復習	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中上級(14) 広告、お知らせ、説明書きなどを比較統合しながら理解できる	H- 11 11 11 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1		
R 14 回		各コマに おける 授業予定	統合理解	使用教材から適 宜抜粋	課題、復習	
第	講	授業を 通じての 到達目標	中上級(15) 700字程度の情報素材の中から必要な情報を探せる(1)	H- II W. 1.1. 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1		
f 15 回	義形式	各コマにおける授業予定	情報検索	使用教材から適 宜抜粋	課題、復習	

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1年制)	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	読解(中級)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対象学年	1年	学期及び曜時限	前期	教室名	502教室
担当教員	中村 絵 実務経験と その関連資	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo (エクル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語をえるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			dad Espiritu Santo (エクアド 交III部で半年間、英語を教

《授業科目における学習内容》

7月の第1回日本語能力試験N2合格、留学試験対策を目標に、ストラテジーを身につける。授業では精読、速読を取り入れ、説明文、論説文、エッセイ、小説やグラフや文字などの情報が多く入った文も扱う。毎回テーマを決めてその力をつけていく。キーワード、指示語、主語の省略、接続詞などポイントを押さえながら、選択肢を見て探すのではなく、自分で筆者の意見をまとめられるよう進学後を見据えての必要な力をつける。辞書なしで、想像しながら読み進める力も習得する。

《成績評価の方法と基準》

- 1. 定期試験:70%
- 2. 課題提出:10%
- 3. チェックテスト:10%
- 4. 授業態度:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

「新完全マスター読解N2」「日本語総まとめN2]

「ドリル&ドリル 日本語能力試験N2読解」(課題)

「日本留学試験ポイントレッスン問題集」から抜粋,オリジナルハンドアウト使用。

《授業外における学習方法》

毎回、前回の授業内容の小テストと課題を課す。

《履修に当たっての留意点》

選択肢に頼らず、自分で要約し、意見を書くことを後期の最終の目標とする。毎回、課題を出し、そこでできていない部分を授業で解説していく。

授美方	業の 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義形	授業を 通じての 到達目標	中上級(16)	使用教材から適	課題、復習	
	我形式	各コマに おける 授業予定	表や掲示物、こ・そ・あの問題について	使用教材が5週 宜抜粋		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	の 中上級 (17)			
第 17 回		各コマに おける 授業予定	キーワード問題について	使用教材から適 宜抜粋	課題、復習	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中上級(18)	使用教材から適 宜抜粋	課題、復習	
18		各コマに おける 授業予定	筆者の主張や考えについて			
第	講義	授業を 通じての 到達目標	中上級(19)	店田教社から、 富		
19	^我 形式	各コマに おける 授業予定	接続表現・文章の並べ方について	使用教材から適 宜抜粋	課題、復習	
第 20 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中上級(20)			
		各コマに おける 授業予定	総復習(能力試験、留学試験問題など)			